

「憲法九条を守るわかやま県民の会」ニュース

発行「憲法九条を守るわかやま県民の会」事務局

県地評 Tel 073-436-3520 Fax 073-436-3554 E-mail w-chihyo@naxnet.or.jp

差別と戦争をなくすために 有馬理恵さんが講演

日高川町で憲法講演会



御坊・日高地方の憲法9条を守る会と労働組合、民主団体で構成されている御坊日高共同センターが、「憲法9条を守る御坊日高実行委員会」を結成して憲法講演会を開催しました。4月23日(土)はあいにくの荒天で朝から激しい雨、会場が日高川交流センターなので、大勢の方が参加してくるかと不安でしたが、雨の中、午後2時の開演時には約200人が集まってくれました。講演は、秋田弁の一人芝居「釈迦内権唄」ダイジェスト版からはじま

りました。参加してくれた方々は、いきなりの秋田弁ではじまった芝居にちょっとおどろいていました。その後、高校生のころに「釈迦内権唄」の舞台に出会い、衝撃を受けたこと、自分の生まれ育った地域のこと、思春期の葛藤、祖父母への思い、家族への思い等々、差別や偏見に出会いながら、その時の自分の気持ちや思いに向き合い、ひとつひとつ納得しながら乗り越えていった様子を語る姿にも引き込まれていきました。最後は、祖父の戦争体験から太平洋戦争当時の日本軍従軍慰安婦問題、フィリピンに行き、ていねいに取材し当時の様子を聞き取りの様子を語りました。そして、従軍慰安婦の裁判を取り上げた「ミュージカル ロラ・マシンの物語」のクワイマックス場面を演じて講演会は終わりました。テノポのいい有馬さんの演技とお話に引き込まれたあつという間の90分間で、終了と同時に感動と充実感を与えてくれた講演に大きな拍手がおこりました。

今回の講演会が、「お芝居とお話」と言うことで、鮮やかなオレンジ色の照明を準備してくれたことも舞台を盛り上げてくれました。ありがとうございました。



三十分で五一筆の署名

JR和歌山駅前で九日宣伝



4月9日「憲法9条を守るわかやま県民の会」と和歌山市9条センターは11時からJR和歌山駅前で行った。2人がマイク宣伝に立ち、それぞれ「憲法9条を持つ日本に米軍基地は要らない。」「防衛計画の大綱」が決定され、自衛隊の攻撃的役割と海外での武力行使を提唱するものとなっている。「国会議員の比例定数削減のねらいは消費税増税や憲法改悪などの悪政を推進しやすくするための体制を作るもの」と訴えました。4月10日の県議会議員選挙の投票日の前日



「アマチュア無線家9条の会わかやま」は、5月1日メーデー会場恒例になったアイボリーミーティング(記念写真撮影)を行いました。アマチュア無線を通して憲法9条を広めようと作られた会で、交信カードに9条を印刷して配布するなど、取り組みんでいます。

アマチュア無線9条の会 メーデー会場で記念写真

もあり、11時30分頃から駅前政党的街頭宣伝が始まったのでこの日の宣伝行動は11時35分に終了しました。この日の参加者は12人(宗平協1、新婦人5、国賠同盟1、救援会1、退教協1、和教組1、高教組2)で51筆の署名が集まりました。

五月憲法集会 五月二日(土)三時三十分 プラザホープ四階 講演 伊波洋一 (前宜野湾市長) 「沖縄県民の願い・憲法九条を持つ国」として「展示「沖縄戦・米軍基地」

比例定数削減反対決起集会 五月六日(月)一八時三十分 プラザホープ二階 講演 西 晃弁護士 (大阪憲法会議副幹事長) 「民意を削る 比例定数削減」 主催 自由法曹団 憲法会議 県地評